コロナ禍で日夜奮闘する医療従事者や関係者に敬意と感謝の決議文!

※議会を代表して決議文を読み上げる桜井区議

議会では令和2年5月7日、第一回臨時会において新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、医療の最前線で昼夜を問わず奮闘している医療従事者を始め様々な関係者の皆様に対し敬意と感謝の意を表す為議員提出議案第６号の決議を行いました。

決　議

新型コロナウイルス感染症の感染リスクに立ち向かい、私たちの社会生活の維持・継続を支えるために必要不可欠な仕事を担う人々(エッセンシャルワーカー)がいます。

医療の最前線で昼夜を問わず奮闘している医療従事者や関係者、高齢者や障がい者の介護、子どもたちの保育や教育、保健所、清掃事務所職員、区役所職員、更には公共交通機関や社会インフラ関係等に携わる人々です。

このような人々の献身により、区民の暮らしは支えられています。　政府から緊急事態宣言が発出され、日本は今、未曾有の危機に直面し、感染リスクや先行きの見えないことへの不安感にさいなまれています。

千代田区議会は、この新型コロナウイルス感染症が拡大するなかにあっても、区民の生命及び財産を守るために日々奮闘する、社会を支えるために必要不可欠な仕事を担う全ての皆さまに対し、区民を代表して敬意と感謝の意を表するとともに、その負担を軽減し、生命及び健康を守るために全力を尽くします。

以上、決議します。

令和2年5月7日

千代田区議会

桜井ただしのプロフィール

昭和28年8月7日生まれ　66歳　しし座

麹町幼稚園、麹町小学校、麹町中学校を卒業

立教大学経済学部卒業(昭和51年)

立教大学体育会陸上競技部ＯＢ

(株)明治屋入社　営業畑一筋に23年

平成11年 千代田区議会議員初当選(現在6期目)

東京都後期高齢者広域連合議会(初代、第11代議長)

第63代 千代田区議会議長

【議会関係現職】

千代田区監査委員
企画総務委員会委員
景観・まちづくり特別委員会委員
災害時要配慮者対策特別委員会委員
千代田区議会だより編集委員長

【地域の関係現職】

麹町地区環境整備協議会会長
麹町小学校同窓会会長
麹町商店会副会長
麹町消防少年団団長

桜井ただしの区政レポート

令和2年度予算特別委員会　コロナ対策特別号

編集/発行　桜井ただし事務所　〒102-0083　東京都千代田区麹町4-5 桜井ビル2階
<区政のご相談は>　TEL:03-3261-7301　FAX:03-3261-0580　sakurai@arion.ocn.ne.jp

桜井ただし
www.tadashi-sakurai.com

ご挨拶

こんにちは　桜井ただしです。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により私たちの生活は大きく制限され、今までに経験した事の無い新たな生活スタイルが求められるようになりました。皆様におかれましてはお仕事やご家庭においても大変な影響を受けられていることと存じます。そのような中、7月5日未明から停滞した梅雨前線の影響で各地にかつてないほどの大雨をもたらしました。お亡くなりになられた方々罹災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

議会では令和2年度の予算を可決し新年度がスタートしたばかりですが、その後の広がるコロナウイルス感染症への対応とスピード感を持って区の施策を行うことから緊急に補正予算を組み、更に議会の立場から区民の皆様に安心していただく為、更なる施策の実現に向けて附帯決議を行いました。区民の皆様の生活を第一に考え、国、都、区が連携して対応できるよう努めてまいります。

桜井ただしが取り組む8つのライフワーク

1 高齢者
いつまでも安心して暮らせる幸せ社会の実現

2 子ども
子育て世代への幅広い支援と青少年の健全育成

3 障がい者
毎日が生きがいの持てる障がい者施策の拡充と自立支援に向けた取り組み

4 商店会・中小企業
景気回復と中小企業の振興、商店会の活性化

5 健康づくり
0才からお年寄りまで生き生きと健やかな区民の健康づくりを支援

6 街づくりと地域コミュニケーション
地域の賑わいと交流が生まれるまちづくりバランスのとれた良好な景観づくりの推進

7 防　災
災害に強いまちづくりと安全安心社会に向けた様々な取り組み

8 相続税・固定資産税の減税運動
いつまでも千代田区に住み、働くことのできる為に

令和2年度予算特別委員会にて

新型コロナウイルス感染症対策「補正予算第2号」に賛成討論しました!

年度が替わり令和2年度予算が動き始めて間もなくの4月7日、東京都はコロナ禍における非常事態宣言を発令し、5月25日の解除まで自粛を要請しました。本区においても予期せぬ様々な対応に迫られ5月7日の補正予算第1号に続き、去る6月16日「補正予算第2号/26億5,000万円」が区から上程されました。審議の中、自民党を代表し賛成の立場で討論しました。

❶区民の安全・安心（健康）を守る
❷区民の生活を支える
❸事業活動（経済活動）を支える

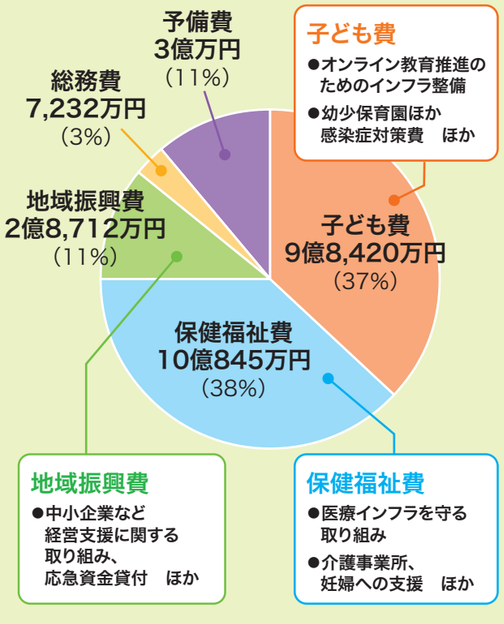
新型コロナウイルス感染症から派生する3つの課題を子ども費、保健福祉費、地域振興費など縦横に切って細部に公平を期し審議しました。学校運営、応急資金貸付、生活困窮者自立支援、介護施設等助成、健康危機管理対策、商工融資事業、中小企業等経営支援、災害応急対策など喫緊の課題から学校運営におけるGIGAスクール構想、生活困窮者等への支援としての住宅確保給付金や応急資金。健康危機管理対策などとしての三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)への支援などについて、議論がなされ採決を行なわれ賛成多数で可決いたしました。

（同封の議会レポート⓭の中面をご参照ください）

賛成討論　桜井ただし

私は賛成の立場で意見を申し上げます。今回の補正予算については一部の支援に特化し現状の区民生活やまちの状況を把握した対策が図られているとは思えません。都心区に必要な対策が盛り込まれず、区民目線の視点も失われていると感じます。又、区独自の対策をもっと打ち出してもよいと考えます。しかし、介護事業や民間保育園、医療インフラの維持という支援が組み込まれていることは、安全・安心を支える点から評価できるといえます。新型コロナウイルスによる経済影響の悪化がさらに見込まれる中、執行機関は現状を丁寧に把握し、区民の要求に応えなければならない。不測の事態が生じても、迅速な対応を図ることを求め賛成討論といたします。

一般会計歳出補正予算額（目的別）



地域に寄り添い スピード感をもって執行を！

補正予算第２号に対する附帯決議

補正予算は千代田区（行政側）から議会に諮られるものですが「附帯決議」は区民の代表である議会から提案し決定されるものです。
令和２年度千代田区一般会計補正予算第２号は、新型コロナウイルス感染症から「区民の命と健康を守り」「区民生活と地域経済を支えること」を最優先に編成されたものです。議会での議論から予算執行にあたっては区民や地域に寄り添う視点に立ち、本区の役割としてスピード感をもって実効性のある支援を行うため、下記の事項を附帯して取り組むことを強く求めました。

記

❶新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や失業などにより収入が減少し、店舗賃料や生活費など応急に必要とする費用の調達が困難な、小売りまたはサービス業を営む区民に対し、新型コロナウイルス対策資金の創設や、応急資金の貸し付け等のメニューを追加するなど、無利子の貸付拡充を行うこと。

❷新型コロナウイルス感染症の影響により、感染予防対策等、「新しい生活様式」に沿った事業活動に必要な経費や会費の支払いが困難な状況にある、料飲組合や商店街連合会の加盟店舗など、各種団体に対し、運営費等の補助についての検討を行うこと。

❸国の特別定額給付金からもれた令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれた子どもに区独自の支援策を検討すること。

令和２年6月16日

千代田区議会

わたしもいれてね